

第58期 事業報告書

自 平成31年4月 1日
至 令和 2年3月31日

おかげさまで新ターミナルビル30周年
花も緑も大きくなりました



宮崎ブーゲンビリア空港

Miyazaki Bougainvillea Airport

M 宮崎空港ビル株式会社

事業報告

（ 自 平成31年4月1日 ）
（ 至 令和2年3月31日 ）

1. 営業の概況

当期におけるわが国経済は、台風などの自然災害や消費税増税等の影響を受けたものの、設備投資や個人消費などが好調で、全体としては、緩やかに景気は持ち直しておりました。しかし、年末に中国で発生した新型コロナウイルス感染症が世界各地に拡大し、わが国でも社会経済活動が大きな影響を受け、一気にこれまでにない厳しい状況となっております。

航空業界では、国内線が堅調に推移する一方、国際線は年末にかけて需要の停滞が見られました。こうした中、新型コロナウイルスの影響で、年度末にかけて国内線、国際線とも利用が急激に落ち込み、通年でも前年を下回る実績となりました。

宮崎空港では、国内線は、国内の景気と連動して順調に推移したほか、ジェットスターの週末・祝日の増便効果もあり、2月までは前年比 102.8%（+ 81,306 人）でありましたが、3月に入って前年比 46.6%（△ 157,017 人）と激減したため、年間乗降客数は 3,116,513 人、前年比 97.6%（△ 75,711 人）と、一挙に前年割れになってしまいました。

また、新年度のスタートにも大きな不安要素を残したまま移行し、現在も厳しい状況が続いています。

国際線では、香港線の運休や日韓関係の悪化に続き、3月がほぼ全便運休になるなど、年間乗降客数は過去最高であった前年を大きく下回る 71,662 人、前年比 51.1%（△ 68,534 人）となりました。

その結果、国内線・国際線の乗降客数合計は、3,188,175 人、前年比 95.7%（△ 144,245 人）と、8年ぶりに前年を下回る結果となりました。

このような状況のもと当社におきましては、現ターミナルビルが完成して 30 年目を迎えたことから、さまざまな取り組みを進めてきました。

特に、会社創立 55 周年を記念して計画した「日向神話のステンドグラス」は、

当時 94 歳の藤城清治先生の原画を基に制作された「神話のふるさと宮崎」を象徴する壮大な芸術作品であり、これから何世紀にもわたって、「宮崎の宝、日本の宝」として輝き続けてほしいと願っております。

併せて「宮崎の祭り」を紹介したジオラマも全面的にリニューアルいたしました。今年は本県で「山の幸 海の幸 いざ神話の源流へ」と題して「国文祭・芸文祭みやざき 2020」が予定されておりますので、開催への気運を盛り上げるため、少しでもお役に立つことができればと思っています。

また、長年のお客様からの御要望に応え、「クレジットカードラウンジ」と「リラクゼーションサロン」、「コンビニエンスストア」を一体的に整備いたしました。南国リゾートの暖かな雰囲気の中、空港の利便性がさらに向上したと喜ばれています。

地域活性化の取り組みと致しましては、行政機関や関係団体等と連携しながら、宮崎市の「大根やぐら展」や高千穂町の「夜神楽」に代表されるような地域文化を発信する観光物産展や各種イベントを積極的に実施してまいりました。

中でも、昨年 5 月に国土交通省が創設した「ガーデンツーリズム登録制度」にて、当社が中心的な役割を担っている宮崎市の「花ボラネットみやざき協議会」が西日本で唯一登録されたことなどを受け、宮崎独自の新たな取り組みとして、「神話と花のバスツアー」をスタートさせました。これは空港を起点に県内各地の神話や花のスポットを訪ね、食の魅力も含めて宮崎を満喫しようというもので、一般公募のお客様に高千穂や日南海岸方面を御案内したところ、大変好評でありました。今後、行政機関等ともタイアップして内容の拡充を図り、空港から県内各地へと誘う新事業として、宮崎の観光浮揚にもつなげてまいりたいと考えています。

危機管理室では、航空保安対策の徹底や自然災害及び家畜防疫対策に取り組んでまいりました。

特に口蹄疫の発生から 10 年という節目を迎え、空港の水際対策の重要性を改めて確認するとともに、防災意識の風化が懸念される中、空港からの更なる啓発活動にも取り組みました。

また、新たな脅威となった新型コロナウイルス感染に対しても、引き続き行政機関と連携し、対応に万全を期してまいります。

施設部門では、建設から 30 年目を迎えたターミナルビルの機能性の確保と安心・安全な運用を図るため、計画に基づき長年取り組んできた改修工事も、カード

ラウンジ等の新設やエレベーターの耐震工事で一通り終了しました。

今後につきましては、P B B（旅客搭乗橋）の更新や国際線施設のあり方について検討するとともに、適正な維持管理を心がけ、いつも安全で快適な施設であり続けるよう努めてまいります。

営業部門では、地域に根ざした空港として、県内の市町村とも連携し、優れた県産品のP Rや販売に努めてまいりました。また、地域の皆様に空港を気軽に御利用いただくため、駐車場2時間無料化を活かし、県内各地の特産品の掘り起こしや新商品の共同開発、県内各地のフェア開催等を積極的に行ってまいりました。

特に、地域と共生し、県内の地域活性化にお役に立てるよう、中山間地域をはじめ、県内各地の魅力を発信するフェアを随時開催するとともに、地域の食材を使った新たなメニューづくり等にも取り組んできたところです。

収入については、2月までは免税店の大幅な減収があったものの、営業部門全体では、概ね順調に推移していましたが、3月の大幅な利用者の減少により、販売・飲食とも大きな打撃を受け、結果として前年を下回ることとなりました。

このうち販売部門では、宮崎牛やマンゴーなど、経済連と共同で催事を企画するとともに、9月には宮崎県商工会連合会と連携協定を結び、県産品の発掘・商品化を進めてまいりました。しかしながら、国際線の減便・運休による免税店の減収や3月の大幅な落ち込みが響き、通年では前年比92.6%となりました。

また飲食部門では、店舗のテナント化を視野に、さまざまな営業スタイルを検討する中、宮崎の食材を活かした「海幸」「山幸」などの地産地消メニューや、人気のガンジスカレーのバリエーションを増やし、多くの皆様にご好評をいただきました。しかしながら、販売部門と同様に通年では前年比97.2%と前年を下回る結果となりました。

貸室部門では、国際線航空会社の運休による賃料の減収があったものの、売店・食堂のテナントの売上が好調で前年並みの実績でありました。

その結果、営業収入全体では、免税店の大幅な減収がある中、2月までは前年比99.2%（△33,544千円）と健闘しておりましたが、3月はコロナウイルスの影響で、直営売店・食堂の売上収入などが前年比57.5%（△177,436千円）と大きく減少し、4,434,255千円、前年比95.4%（△210,980千円）と減収となりました。

営業経費は、ターミナルビル30周年と創立55周年事業に伴い、計画的な設

備投資に取り組んできた結果、減価償却費と維持管理費が増加いたしました。また、人員不足解消に向けたパート・アルバイトの採用や賃金アップを行う一方で、効率的な勤務体制づくりに努めるなど全般的な経費削減に取り組み、経費全体では4,341,892千円、前年比98.1%にとどめることが出来ました。

その結果、営業利益は92,363千円、前年比41.9%、これに営業外利益10,707千円を加えた経常利益は103,070千円、前年比45.0%と減収減益となりました。

また、税引前当期純利益は91,574千円、前年比44.4%、当期純利益は59,843千円、前年比40.1%となりました。

令和2年度の日本経済は、新型コロナウイルスの終息が見通せない中、4月には政府による緊急事態宣言が発出され、休業要請や外出自粛などによる企業収益の低下や雇用・所得環境の悪化、個人消費の低迷など、大変厳しい状況が続くと見込まれています。

当社を取り巻く環境は、3月以降、国際線はほぼ全便が運休し、国内線でも移動の自粛により、乗降客数は4月が約90%減、5月が約95%減となりました。

その結果、当社が今までに経験したことがないほど売上が激減するとともに、貸室収入等につきましても、航空会社への減額はもとより、臨時休業中を含むテナント各社につきましても大幅な収入減となっておりますので、当社としても出来る限りの支援に努め、この難局を共に乗り切ってまいりたいと考えています。

当社の対処すべき課題としては、政府の緊急事態宣言の解除が全国に拡大したことを受けて、これから徐々に経済活動が再開されていくと思われませんが、他の業種に比べても、私どもの航空業界の回復には相当の時間を要するものと予想されます。このため、国や自治体の支援制度を最大限活用させていただきながら、役員全てが共通の危機意識を持ち、全社一丸となって様々な課題に取り組んでまいります。

具体的には、従業員の雇用の維持と家族の生活を守るため、国の雇用調整助成金を活用するほか、一部店舗の臨時休業や時短営業をはじめ、全般的な経費削減に努めてまいります。

また、このような危機を改革へのチャンスと捉え、店舗や業務のあり方を足元から見直し、中長期的な視点に立った設備投資の再検討を実施します。一方、ネットによる商品販売強化や食事のテイクアウト方式の展開、花や緑など宮崎空港の特性を最大限に活かした環境づくりなどを進め、将来にわたって魅力的で安定的な経営

をめざしてまいります。

なお、空港民営化の問題につきましても、それぞれの空港の事情によって企業参入条件や求められる事業計画が変わってきている中、引き続き情報収集に努め研究を続けてまいります。

当社はこれまで、宮崎の空の玄関として、地域活性化に取り組んでまいりましたが、今後とも、県内各地の皆様と連携し、感染症対策とのバランスを図りながら、空港からの癒やしや元気の発信、地産地消の応援企画を行うなど、低迷する地域経済に少しでも貢献できるよう努めてまいります。今秋には宮崎駅前や街中の商業施設が完成する予定であり、当社としては競争が激化することが予想されることから、さらに空港の特性を活かし、街と駅と空港との相互連携を図り、地域の活性化に寄与していく所存です。

全国各地で様々な行事やイベントが中止や延期となる中、5月に宮崎で開催予定でありました「全国空港ビル事業者協会総会」もコロナ拡散防止のため実施できない状況になってしまいました。

しかしながら、同協会の皆様方の温かい御配慮により、幸いにも来年に延期していただくことが決定し、心から感謝しております。また新たな気持ちで、全国の空港ビルの皆様をお迎えする準備に取りかかり、宮崎の魅力を十分に感じていただけるよう努めてまいります。

最後になりましたが、今般の新型コロナウイルスによる惨禍は、当社の経営にも危機的な影響をもたらし、先行きの不透明感から、今後も予断を許さない状況が続くものと考えられます。私どもではこれからも、観光立県宮崎の空の玄関口として、諸先輩方が築いてこられた「南国情緒溢れる空港づくり」に「安心・安全」を忘れることなく、「おもてなしこそが最大の観光資源」をモットーに、「まだまだ、ニコニコ、一歩ずつ」を行動指針として、快適な空間の提供、地域の活性化に努めてまいりますので、株主の皆様におかれましては、より一層の御支援、御鞭撻を賜りますよう、お願い申し上げます。

以上

乗降客の状況

【宮崎空港状況】

①年間乗降客数内訳（平成31年4月～令和2年3月）

	国内線				国際線			
	本年	前年	増減	対前年比	本年	前年	増減	対前年比
4月～2月迄	2,979,459人	2,898,153人	81,306人	102.8%	71,442人	126,571人	△55,129人	56.4%
3月	137,054人	294,071人	△157,017人	46.6%	220人	13,625人	△13,405人	1.6%
合計	3,116,513人	3,192,224人	△75,711人	97.6%	71,662人	140,196人	△68,534人	51.1%

	国内線・国際線 合計			
	本年	前年	増減	対前年比
4月～2月迄	3,050,901人	3,024,724人	26,177人	100.9%
3月	137,274人	307,696人	△170,422人	44.6%
合計	3,188,175人	3,332,420人	△144,245人	95.7%

※特記事項 ・3月は新型コロナウイルス感染拡大の影響で乗降客数が激減しました。
 ・ジェットスターの週末・祝日増便効果（+122便）で成田線は好調に推移しました。
 ・国際線については、香港線の運休や日韓関係の悪化に続き、3月がほぼ全便運休となる厳しい状況でした。
 アシアナ航空：令和2年3月9日から運休、イースター航空：令和2年3月3日から運休、チャイナエアライン：令和2年2月末から運休
 欠航便及び運休便 ・4月～2月迄：本年571便（△83便） ・3月：本年368便（+360便）
 合計 本年939便（+277便）
 （主な内訳）：台風377便 欠航（+193便）・3月 新型コロナウイルスの影響368便 運休減便 その他 194便 欠航

②路線別乗降客数実績表（平成31年4月～令和2年3月）

	本年	前年	増減	対前年比	座席数 対前年比
羽田	1,481,322人	1,552,181人	△70,859人	95.4%	98.1%
成田	138,308人	119,421人	18,887人	115.8%	114.0%
東京計	1,619,630人	1,671,602人	△51,972人	96.9%	99.0%
伊丹	601,849人	602,471人	△622人	99.9%	102.2%
関空	115,936人	122,756人	△6,820人	94.4%	94.0%
大阪計	717,785人	725,227人	△7,442人	99.0%	101.1%
福岡	534,419人	537,819人	△3,400人	99.4%	98.7%
名古屋	157,347人	168,559人	△11,212人	93.3%	100.2%
沖縄	85,216人	88,153人	△2,937人	96.7%	109.5%
チャーター及び臨時便	2,116人	864人	1,252人	244.9%	313.0%
合計	3,116,513人	3,192,224人	△75,711人	97.6%	99.9%

③航空会社別状況（平成 31 年 4 月 ～ 令和 2 年 3 月）

	ANA	JAL	ソラシドエア	PEACH	ジェットスター	合計
乗降客数 (対前年比)	1,227(千人) (96.7%)	961(千人) (99.0%)	673(千人) (95.0%)	115(千人) (94.4%)	138(千人) (115.8%)	3,116(千人) (97.6%)
座席数 (対前年比)	1,800(千席) (98.6%)	1,390(千席) (99.4%)	1,025(千席) (101.4%)	132(千席) (94.0%)	169(千席) (114.0%)	4,518(千席) (99.9%)
利用率 (前年実績)	68.2% (69.6%)	69.1% (69.4%)	65.6% (70.1%)	87.8% (87.3%)	81.6% (80.3%)	69.0% (70.5%)

※上記数値には、国際線の乗降客は含まれておりません。

※ ANA については、本年の O R C 乗降客数 205,440 人、座席提供数 262,552 席を含めた実績で計上いたしております。

④国際線の状況（平成 31 年 4 月 ～ 令和 2 年 3 月）

	便 数	乗降客数	対前年比	日本人割合	外国人割合	利用率
韓国(アジアナ)	284 便	27,435 人	59.2%	26.1%	73.9%	56.9%
韓国(イースター)	220 便	22,934 人	51.0%	22.8%	77.2%	55.2%
韓 国 計	504 便	50,369 人	55.1%	24.6%	75.4%	56.1%
台湾定期便	184 便	20,981 人	63.8%	33.2%	66.8%	71.7%
チャーター便	2 便	312 人	—	100.0%	0.0%	98.7%
国際線総数	690 便	71,662 人	51.1%	27.4%	72.6%	60.0%

※便数及び乗降客数は片道ベース(往路 1 便・復路 1 便)として計算いたしております。

⑤九州各空港の乗降客数（平成 31 年 4 月 ～ 令和 2 年 3 月）

空港名	国内線(対前年比)	国際線(対前年比)	合計(対前年比)
宮 崎	3,116,513人(97.6%)	71,662人(51.1%)	3,188,175人(95.7%)
福 岡	17,566,470人(98.1%)	5,468,975人(78.5%)	23,035,445人(92.7%)
那 覇	17,464,670人(99.0%)	3,141,749人(80.0%)	20,606,419人(95.6%)
鹿児島	5,437,483人(96.1%)	327,213人(81.1%)	5,767,644人(95.1%)
熊 本	3,109,741人(97.1%)	113,510人(55.2%)	3,223,251人(94.6%)
長 崎	3,090,996人(96.6%)	66,858人(97.5%)	3,157,854人(96.6%)
大 分	1,784,221人(95.6%)	50,443人(36.8%)	1,834,664人(91.6%)
北九州	1,355,644人(94.5%)	223,466人(64.1%)	1,579,110人(88.6%)
佐 賀	581,428人(98.7%)	148,732人(64.7%)	730,160人(89.2%)
合 計	53,507,166人(97.9%)	9,612,600人(77.4%)	63,119,766人(94.1%)

2. 会社の概況（令和2年3月31日現在）

(1) 会社の目的

- ① 貸室および施設、設備貸与業
- ② 土産品、酒類、煙草、郵便切手、収入印紙、薬品および雑貨品の販売
および斡旋業
- ③ 食堂、喫茶店および娯楽施設の経営
- ④ 損 害 保 険 代 理 業
- ⑤ 旅行業法に基づく斡旋業
- ⑥ 広 告 宣 伝 業
- ⑦ 催物の企画並びに販売
- ⑧ 駐車場運営および造園、植樹に関する事業
- ⑨ 航空思想の普及並びに観光に関する事業
- ⑩ 前各号に附帯する一切の事業

(2) 主要な事業内容

- ① 貸 室 業 航空会社並びに売店・飲食業のテナント
- ② 売 店 土産品および酒、煙草販売
- ③ レストラン

(3) 株式の状況

- | | |
|-------------------|----------|
| ① 発行可能株式総数 | 30,000 株 |
| ② 発行済株式総数 | 20,000 株 |
| ③ 株 主 数 | 21 名 |

④ 大株主（上位 11 名）

株 主 名	持 株 数	議 決 権 比 率
宮 崎 交 通 株 式 会 社	7,865 株	39.3 %
ANA ホールディングス株式会社	4,000	20.0
株 式 会 社 宮 崎 銀 行	1,000	5.0
宮 崎 県	1,000	5.0
日 本 航 空 株 式 会 社	700	3.5
宮 崎 市	600	3.0
恒 吉 宏 三 郎	560	2.8
九 州 電 力 株 式 会 社	500	2.5
株 式 会 社 宮 崎 放 送	500	2.5
旭 化 成 株 式 会 社	500	2.5
フェニックスリゾート株式会社	500	2.5

⑤ 株式の移動

当期中における株式の移動はございません。

(4) 重要な子会社の状況

会 社 名	資 本 金	持株比率	主 な 事 業 内 容
宮崎空港商事株式会社	10,000 千円	100%	1. 土産品の斡旋及び製造販売 2. 観光用の農水産物の加工及び販売
株式会社 味のガンジス	10,000 千円	100%	1. レストラン、喫茶店 2. 食料品卸し

(5) 取締役及び監査役

取締役及び監査役の氏名等

地 位	氏 名	担当または主な職業
代表取締役会長	長 濱 保 廣	株主総会・取締役会議長
代表取締役社長	高 屋 靖 夫	総括・常務会議長
専 務 取 締 役	前 田 功	財務・経理担当
専 務 取 締 役	永 山 博 康	総務部担当 兼 危機管理室担当
常 務 取 締 役	豊 島 進	業務部担当 兼 CS 担当
常 務 取 締 役	大 坪 篤 史	施設部担当 兼 地域活性化担当
取締役経理部長	大久保政彦	経理部担当
取締役営業部長	藤 本 誠 一	営業部担当
取 締 役	郡 司 行 敏	宮崎県副知事
取 締 役	戸 敷 正	宮崎市長
取 締 役	菊 池 克 頼	宮交ホールディングス株式会社 代表取締役社長
取 締 役	渚 上 明 彦	全日本空輸株式会社 宮崎支店 支店長
取 締 役	伊 東 芳 隆	日本航空株式会社 宮崎支店 支店長
監 査 役	平 野 亘 也	株式会社宮崎銀行 代表取締役頭取
監 査 役	林 田 洋 二	株式会社宮崎太陽銀行 代表取締役頭取

(6) 使用人の状況

使用人数	前事業年度末比増減	平均年齢	平均勤続年数
77(250)名	△1(△24)名	32.9歳	9.8年

(注) 嘱託社員及びパートは()内に記載しております。

(7) 営業成績及び財産の状況の推移

区 分	第 55 期	第 56 期	第 57 期	第 58 期
	平成 28 年度	平成 29 年度	平成 30 年度	令和元年度 (当 期)
売 上 高	千円 4,294,826	千円 4,441,284	千円 4,645,235	千円 4,434,255
当 期 純 利 益	千円 206,672	千円 166,192	千円 149,068	千円 59,843
1 株当たりの当期純利益	円 10,333.64	円 8,309.62	円 7,453.40	円 2,992.19
資 産 合 計	千円 7,745,403	千円 9,404,427	千円 9,390,410	千円 8,712,066
純 資 産 合 計	千円 4,283,722	千円 4,797,412	千円 4,884,927	千円 4,212,069

(8) 主要な借入先、借入額

借 入 先	借入金残高
株 式 会 社 宮 崎 銀 行	1,913,800 千円
株 式 会 社 宮 崎 太 陽 銀 行	1,359,360 千円
株 式 会 社 日 本 政 策 投 資 銀 行	200,000 千円

貸借対照表

(令和2年3月31日現在)

資 産 の 部			負 債 の 部		
科 目	金 額		科 目	金 額	
	千円	千円		千円	千円
流 動 資 産		515,530	流 動 負 債		1,816,152
現金・預金	213,559		短期借入金	1,020,000	
売掛金	139,694		1年以内返済予定の長期借入金	216,840	
売店商品	61,063		買掛金	309,053	
食堂材料	12,821		未払費用	117,698	
貯蔵品	6,263		未払法人税等	6,010	
雑流動資産	39,702		未払消費税等	21,725	
未収収益	41,745		預り金	19,537	
未収還付法人税等	890		前受収益	54,697	
貸倒引当金	△ 209		賞与引当金	16,350	
			役員賞与引当金	6,845	
			リース債務	27,393	
固 定 資 産		8,196,535	固 定 負 債		2,683,844
有形固定資産	(6,111,441)		長期借入金	2,236,320	
建物	4,093,162		退職給付引当金	97,390	
建物付属	940,791		役員退職慰労引当金	230,066	
構築物	49,645		預り保証金	25,466	
機械装置	441,749		リース債務	94,600	
什器備品	214,735		負債の部合計		4,499,996
車両運搬具	0		純 資 産 の 部		
庭園	9,761		株 主 資 本		3,227,610
土地	303,333		資 本 金		200,000
リース資産	58,262		資本金	200,000	
無形固定資産	(74,421)		利益剰余金		3,027,610
ソフトウェア	18,461		利益準備金	50,000	
無形リース資産	55,436		その他利益剰余金	(2,977,610)	
その他の無形固定資産	522		施設改修積立金	1,350,000	
投資その他の資産	(2,010,673)		任意積立金	1,450,000	
投資有価証券	1,751,248		繰越利益剰余金	177,610	
子会社株式	10,000		評価・換算差額等		984,459
出資金	249,424		その他有価証券 評価差額金	984,459	
資産の部合計		8,712,066	純資産の部合計		4,212,069
			負債・純資産の部合計		8,712,066

(注) 1.子会社に対する短期金銭債権 279千円

2.子会社に対する短期金銭債務 29,275千円

3.有形固定資産の減価償却累計額 10,270,867千円

4.担保に供している資産 79,170千円

損 益 計 算 書

(平成31年4月1日から令和2年3月31日まで)

科 目	金 額		
	収 入	支 出	損 益
	千円	千円	千円
貸 室 収 入	1,154,599		
売 上 収 入	3,172,393		
使用料及び手数料収入	107,262		
営 業 収 入 計	4,434,255		
売 上 原 価		2,014,705	
人 件 費		949,019	
諸 経 費		942,694	
償 却 費		435,472	
営 業 経 費 計		4,341,892	
営 業 利 益			92,363
受 取 利 息	1		
その他の営業外収入	65,287		
営 業 外 収 入 計	65,288		
支 払 利 息		54,129	
その他の営業外支出		451	
営 業 外 経 費 計		54,581	
営 業 外 利 益			10,707
経 常 利 益			103,070
特 別 利 益			
前 期 修 正 益	5,424		
国庫補助金受贈益	45,199		
計	50,624		
特 別 損 失			
前 期 修 正 損		4,262	
投資有価証券評価損		8,030	
固定資産圧縮損		45,199	
固定資産除却損		4,627	
計		62,120	
税引前当期純利益			91,574
法人税・住民税及び事業税			31,731
当 期 純 利 益			59,843

- (注) 1. 子会社に対する売上高 6,030 千円
2. 子会社からの仕入高 810,699 千円
3. 1株当たりの当期純利益 2,992.19 円

株 主 資 本 等 変 動 計 算 書

当会計期間(平成31年4月1日から令和2年3月31日まで)

(単位:千円)

		株 主 資 本						評価・換算 差額等	純 資 産 の 部 合 計	
		資 本 金	利 益 剰 余 金				株 主 資 本 合 計	そ の 他 評 価 差 額 金 有 価 証 券		
			利 益 準 備 金	その他利益剰余金						利 益 剰 余 金 合 計
				施 設 改 修 積 立 金	任 意 積 立 金	繰 越 利 益 剰 余 金				
当 期 首 残 高		200,000	50,000	1,200,000	1,450,000	287,766	2,987,766	3,187,766	1,697,161	4,884,927
当 期 変 動 額	施設改修積立金			150,000		△150,000	0	0		0
	株主配当金					△20,000	△20,000	△20,000		△20,000
	当期純利益					59,843	59,843	59,843		59,843
	株主資本以外の項目								△712,701	△712,701
当期変動額合計		0	0	150,000	0	△110,156	39,843	39,843	△712,701	△672,857
当 期 末 残 高		200,000	50,000	1,350,000	1,450,000	177,610	3,027,610	3,227,610	984,459	4,212,069

個別注記表

1. 重要な会計方針に係る事項

(1) 有価証券の評価基準および評価方法

① 子会社株式 ……………移動平均法による原価法。

② その他の有価証券

市場価格のあるもの……………期末日の市場価格等に基づく時価法。
(評価差額は全部純資産直入法により処理し、
売却原価は移動平均法により算定)

市場価格のないもの……………移動平均法による原価法。

(2) 棚卸資産の評価基準および評価方法

製品、原材料、仕掛品……………先入先出法による原価法。

(3) 固定資産の減価償却の方法

① 建物

平成10年3月31日以前に取得したもの……………法人税法に規定する旧定率法。

平成10年4月1日以後平成19年3月31日以前に取得したもの

……………法人税法に規定する旧定額法。

平成19年4月1日以後に取得したもの……………法人税法に規定する定額法。

② 建物付属設備及び構築物

平成19年3月31日以前に取得したもの……………法人税法に規定する旧定率法。

平成19年4月1日以後平成24年3月31日以前に取得したもの

……………法人税法に規定する定率法(250%定率法)。

平成24年4月1日以後平成28年3月31日以前に取得したもの

……………法人税法に規定する定率法(200%定率法)。

平成28年4月1日以後に取得したもの……………法人税法に規定する定額法。

③ 建物、建物付属設備及び構築物以外の有形固定資産(リース資産除く)

平成19年3月31日以前に取得したもの……………法人税法に規定する旧定率法。

平成19年4月1日以後平成24年3月31日以前に取得したもの

……………法人税法に規定する定率法(250%定率法)。

平成24年4月1日以後に取得したもの

……………法人税法に規定する定率法(200%定率法)。

④ 無形固定資産(リース資産除く)……………法人税法に規定する定額法。

⑤ リース資産

所有権移転外ファイナンス・リース取引に係わるリース資産

……………リース期間を耐用年数とし、残存価額を零とする定額法。

(4) 引当金の計上基準

- ① 貸倒引当金……………売上債権、貸付金等の債権の貸倒れによる損失に備えるため、一般債権については貸倒実績率により、貸倒懸念債権等特定の債権については個別に回収可能性を検討し、回収不能見込額を計上。
- ② 賞与引当金……………従業員の賞与の支給に備えるため、支給見込額基準による当事業年度末の負担額を計上。
- ③ 役員賞与引当金……………役員の賞与の支給に備えるため、支給見込額を計上。
- ④ 退職給付引当金……………従業員の退職給付に備えるため、当事業年度末における退職給付債務に基づき計上。
- ⑤ 役員退職慰労引当金……………役員の退職慰労金の支給に備えるため、役員退職慰労金規程に基づく期末要支給額を計上。

2. 株主資本等変動計算書に関する注記

(1) 発行済株式の総数に関する事項

株式の種類	前事業年度末の 株 式 数	当事業年度増加 株 式 数	当事業年度減少 株 式 数	当事業年度末の 株 式 数
普通株式	20,000 株	－ 株	－ 株	20,000 株

(2) 剰余金の配当に関する事項

① 配当金支払額

令和元年6月20日開催の第57回定時株主総会において、次のとおり決議されました。

決議	株式の種類	配当金の総額	配当の原資	1株当たりの配当額	基準日	効力発生日
令和元年6月20日 第57回定時株主総会	普通株式	20,000千円	利益剰余金	1,000円	平成31年 3月31日	令和元年 6月21日

② 基準日が当事業年度に属する配当のうち、配当の効力発生日が翌事業年度となるもの

令和2年6月26日開催の第58回定時株主総会において、次のとおり付議いたします。

決議	株式の種類	配当金の総額	配当の原資	1株当たりの配当額	基準日	効力発生日
令和2年6月26日 第58回定時株主総会	普通株式	10,000千円	利益剰余金	500円	令和2年 3月31日	令和2年 6月29日

3. その他の注記

端数処理の方法……………記載の金額は千円未満を切り捨てて表示しております。

監 査 報 告 書

私たち監査役は、平成31年4月1日から令和2年3月31日までの第58期事業年度の取締役の職務の執行を監査いたしました。その方法及び結果につき以下のとおり報告いたします。

1. 監査の方法及びその内容

私たち監査役は、取締役及び使用人等と意思疎通を図り、情報の収集及び監査の環境の整備に努めるとともに、取締役会及びその他の重要な会議に出席し、取締役及び使用人等からその職務の執行状況について報告を受け、必要に応じて説明を求め、重要な決裁書類等を閲覧し、業務及び財産の状況を調査いたしました。以上の方法に基づき、当該事業年度に係る事業報告及びその附属明細書について検討いたしました。

さらに、会計帳簿又はこれに関する資料の調査を行い、当該事業年度に係る計算書類（貸借対照表、損益計算書、株主資本等変動計算書及び個別注記表）及びその附属明細書について検討いたしました。

2. 監査の結果

(1) 事業報告等の監査結果

- 一 事業報告及びその附属明細書は、法令及び定款に従い、会社の状況を正しく示しているものと認めます。
- 二 取締役の職務の執行に関する不正の行為又は法令もしくは定款に違反する重大な事実は認められません。

(2) 計算書類及びその附属明細書の監査結果

計算書類及びその附属明細書は、会社の財産及び損益の状況をすべての重要な点において適正に表示していると認めます。

令和2年5月14日

宮崎空港ビル株式会社

監査役 平 野 亘 也 ㊟

監査役 林 田 洋 二 ㊟

以 上

宮崎空港ビル株式会社

取締役会長	株主総会・取締役会議長	長濱保廣
代表取締役社長	統括・常務会議長	高屋靖夫
専務取締役	財務・経理担当	前田功
専務取締役	総務部担当 兼 CS 推進担当	永山博康
常務取締役	施設部担当 兼 危機管理室担当	大森正勝(新任)
常務取締役	業務部担当 兼 地域活性化担当	大坪篤史
取締役 経理部長	経理部担当	大久保政彦
取締役 営業部長	営業部担当	藤本誠一
取締役		郡司行敏
取締役		戸敷正
取締役		菊池克頼
取締役		中村雄志(新任)
取締役		伊東芳隆
監査役		平野亘也
監査役		林田洋二

(令和2年6月26日現在)



■ 宮崎空港ビルの使命・役割

～楽しい旅のお手伝い～

当社は、空の玄関として、航空機を利用されるお客様を次の目的地へ、安全かつ迅速にお送りするとともに、快適な空間を提供し、あわせて航空業界の発展に寄与していくことを使命とする。さらに、地方空港として、宮崎の文化や観光、経済の情報を発信し、地域社会の発展に努めていく役割を担っている。

■ 経営理念

- ・ 当社の使命・役割を果たす為に、積極的な事業展開を行い、健全経営に努めます。
- ・ 地域の発展に積極的に取り組み、県民の皆様に愛され、信頼される企業を目指します。
- ・ 「おもてなしこそが最大の観光資源」との想いを継承し、日本一のおもてなし空港を目指します。
- ・ 社員を大切に、一人ひとりが夢を持てる、明るい企業を目指します。

■ 行動指針

～まだまだ、ニコニコ、一歩ずつ。～

私たちは、県民の皆様に代わって、お客様をお迎えする立場であることを自覚し、いつも「お陰様で、ありがとうございます」という感謝の気持ちを、お客様に感じていただける接客に努めます。

- ・ 私たちは、安全安心のサービス提供のため、徹底した安全管理・衛生管理に努めます。
- ・ 私たちは、いつも明るい笑顔と感謝の心をもってお客様の心に残る一歩先のおもてなしに努めます。
- ・ 私たちは、お客様の声を最も重要視し、どんな小さなことでも全て報告します。
- ・ 私たちは、お取引をいただいている皆様に、常に感謝の気持ちをもって接します。
- ・ 私たちは、より高い目標を持ち、常に背伸びをして、自己能力の向上に挑戦します。
- ・ 私たちは、サービスのプロとして、社員同士がお互いに注意しあえる職場づくりを目指します。

おかげさまで



宮崎空港ターミナルビル

令和2年3月24日（火）、当社ターミナルビルは30周年を迎えました。4階の宮崎空港稲荷神社にて宮崎神宮様をはじめ、宮崎空港ビル関係者など約50名の方々にお集まりいただき、30周年の歩

1990



平成 2 年 3 月
宮崎空港ターミナルビル完成

1996



平成 8 年 7 月
ローカル空港初の空港連絡
鉄道「宮崎空港線」開通

1999



平成 11 年 6 月
年間乗降客数 500 万人に
対応出来る施設として増改
築工事完了

20



平成13年4月
宮崎空港初の
就航。アジア
ソウル線

2015



平成 27 年 8 月
「宮崎ブーゲンピリア空港」の
モニュメントが平成 27 年度の
「宮崎市景観賞」受賞

2016



平成 28 年 10 月
第 26 回 全国花のまちづくり
コンクール最高賞
「国土交通大臣賞」受賞

2018



平成 30 年 3 月
2階東売店「日向屋」
リニューアルオープン

20



平成 30 年 7 月
2 階売店「燦々
全国空港初の
「Moo Boo Co

30周年 花も緑も大きくなりました



「鎮座祭」を実施し、その後2階レセプションルームにて直会を開催しました。
 みを記念した DVD の放映を行いました。

01

2011

2012

2014



国際定期便
 ナ航空による



平成 23 年 7 月
 宮崎県産の鉄肥杉を使用した
 ご当地検査場完成



平成 24 年 7 月
 宮崎空港ビル 50 周年記念事業
 「エアブレインパーク」オープン



平成 26 年 4 月
 「より南国リゾートらしく」を
 コンセプトに「森のデッキ」
 「花のデッキ」完成

18

2019

2019

2020



市場」
 お肉屋専門店
 ck」オープン



平成 31 年 1 月
 小型機対応ロングPBB、トイレ、
 授乳室が評価され「第 12 回
 国土交通省バリアフリー化推進
 功労者大臣表彰」



令和元年 5 月
 神話のステンドグラス完成



令和 2 年 3 月
 ブーゲンラウンジ「ひなた」
 オープン

宮崎空港ビル令和元年度の取り組み



5月15日(水)

神話のステンドグラス完成



会社創立 55 周年を記念して計画した「日向神話のステンドグラス」は、日本を代表する影絵作家の藤城清治先生に原画制作を依頼し、その原画を基にステンドグラス工芸家として大変著名な「バロック工房」の臼井定一先生に仕上げていただき5月15日に完成しました。このステンドグラスは、世界に類を見ない「神話のふるさと宮崎」を象徴する壮大な芸術作品であり、これから何世紀にもわたって、「宮崎の宝、日本の宝」として色褪せることなく輝き続けてほしいと願っております。

ステンドグラス見学施設も設置



ステンドグラスを紹介する見学用のタッチパネルを3階のギャラリーに設置し、神話についてわかりやすく解説しており、子供から大人まで楽しめる施設となっております。

また、子供向けの館内案内では、オペラグラスを貸し出し、より探検気分が味わえると喜んでいただいております。

空港ステンドグラスと「神話と花のバスツアー」

国文祭・芸文祭みやざき2020協力事業として、「大館教授と行く 空港ステンドグラスと神話の源流探訪ツアー」を実施いたしました。今年の10月から開催される「国民文化祭・みやざき2020 全国障害者芸術・文化祭みやざき大会」を前に、楽しみながら神話についての理解を深めてもらうと計画し、第一弾として12月7日(土)に、空港でのステンドグラス見学後、高千穂町の国見ヶ丘・高千穂峡・高千穂神社・天岩戸神社等を宮崎県立看護大学の大館教授に案内いただきながら見学しました。また、第二弾として2月29日(土)に、こどものくに・青島神社・ボタニックガーデン・鵜戸神宮・潮嶽神社など日南方面の神話ゆかりの地を見学しました。両日とも満席のご予約をいただき、たいへん好評なツアーとなりました。今後も継続して地域活性化に努めていきたいと考えております。



国見ヶ丘見学

4月15日(水) 「天孫降臨と宮崎の祭り」の ジオラマリニューアルセレモニー

「宮崎空港ターミナルビル30周年記念事業」及び「国文祭・芸文祭みやざき2020協力事業」の一環として取り組んでいた「天孫降臨と宮崎の祭り」のジオラマを全面リニューアルし、令和2年4月15日(水)にセレモニーを行いました。

今回のリニューアルでは、祭りの人形をすべて修復するとともに、新たに神々の人形20体を追加し、天孫降臨の様子を再現しました。除幕式には、来賓として宮崎県の郡司副知事を始め、監修に当たった宮崎県立看護大学の大館教授、制作した「はにわ広告事務所」の萩原社長にもご参加いただきました。



3月26日(木)

ブーゲンラウンジ「ひなた」 リラックスガーデン「ココタイ」 オープン

令和2年3月26日(木)、お客様からご要望の多かったクレジットカードラウンジ「ブーゲンラウンジ ひなた」がオープンいたしました。お客様がより快適、便利に空港でのひと時をお過ごしいただけるよう、「思わず入ってみたいくなるような南国リゾート宮崎らしい魅力溢れる空間の創出」をコンセプトにしております。

また、ラウンジの隣にはリラクゼーションサロン「ココタイ」(マッサージ)が併設され、よりリラックスしたいというお客様の声にもお応えできるものとなっております。



2月20日(木)

コンビニエンスストア オープン (セブン・イレブン宮崎ブーゲンビリア空港店)

令和2年2月20日(木)、これまでお客様からのご要望の多かったコンビニエンスストア「セブン・イレブン」がオープンいたしました。空港をご利用されるお客様に加え、空港で働く方々にも便利になったと喜ばれています。



目指せ2020年！空港発 みやざきブーゲンビリア植栽プロジェクト



2020年東京オリンピック・パラリンピック開催に向け、宮崎を訪問する観光客を歓迎すると共に、「美しい宮崎づくり」の推進や「宮崎ブーゲンビリア空港」の愛称浸透を図るため、宮崎空港振興協議会（会長：宮崎県知事）と宮崎空港ビル、各エアラインとの共催により実施してきた、「目指せ2020年！空港発みやざきブーゲンビリア植栽プロジェクト」は、平成27年3月、宮崎県庁のキックオフイベントを皮切りに、令和2年2月12日に行った新富町へのブーゲンビリア贈呈式で26市町村全てに対して終了いたしました。



平成27年3月 宮崎県庁にてキックオフイベント



令和2年2月 新富町役場

9月6日(金)

特産品の販路開拓に関する連携協定調印式

宮崎県商工会連合会と宮崎空港ビル(株)とは、県内の中小企業や小規模事業者が生産、販売する特産品等の販路開拓支援を通して、地域商工業の発展と地域経済の活性化に繋げることがを目的に「特産品の販路開拓に関する連携協定」を締結いたしました。

特産品の販売会や商談会の開催、特産品の品質向上のための求評会、講演会、広報等の各種事業の共催、共同実施を通して特産品の販路開拓、企業の発展、地域経済の活性化を目指します。最初の連携事業として、「秋のうまいもん市～商工会マルシェお宝発掘～」を、9月7日(土)～16日(月・祝)に開催いたしました。



宮崎フーゲンビア空港

オリジナル商品のご紹介

空飛ぶ！ 宮崎和牛カレー

国際線
ファーストクラス
日本発

国際線
ビジネスクラス
日本発



宮崎空港で誕生以来、50年間変わらぬ味。
平成29年6月から1年間 JAL 国際線の機内食に
採用されました。宮崎の美味しいカレーをどうぞ。

ガンジスカレー ●1食
【ガンジス・宮崎和牛・宮崎黒豚】各 **550 円**



ガンジス



宮崎和牛



宮崎黒豚



CURRY & SPAGHETTI
ガンジス



繊細な甘みの芋
本格麦焼酎
竜吟蔵



芳醇な香りとコクの麦
本格麦焼酎
長期熟成蔵



豊潤な甘みのそば
本格そば焼酎
全量そば

宮崎の本格焼酎は、材料が多様性に富んでおります。それぞれの特徴を活かした「豊蔵蔵の芋」「長期熟成貯蔵の麦」「全量そば」による、三種の味わいをお楽しみください。

三種の本格焼酎

アルコールド数三十三度。芋、麦、そば。

宮崎空港限定

ひむか燦々 (さんさん) 【芋・麦・そば】●720ml ●33度 各 **3,300 円**



空港シェフ特製
日向夏ドレッシング
●220ml **600 円**
●瓶：220g **700 円**



空港シェフ特製
金柑ドレッシング
●220ml **650 円**

おんでも召まれないゾ♥



春ウコン
沖縄皇金
紫ウコン
白ウコン



お酒の前に、小粒で飲みやすい、
4種のウコン効果！



夢かぐらオリジナル
冷や汁
●1袋 **432 円**
●箱入：2袋 **864 円**
1袋はお茶碗2杯分です。



チキン南蛮カレー
●1食 **1,000 円**

ニシタチレジェンド
●1袋 **1,100 円** ●1包 **200 円**
(6包入)

※表示価格はすべて税込価格です。